

令和3年度

事業計画並びに収入支出予算

社会福祉法人 大阪社会医療センター

## 令和3年度事業計画

大阪社会医療センターは、疾病や労働災害などにより治療が必要でありながら、社会保険未加入のため、あるいは、その他社会的、経済的理由などにより、必要な医療を受けることが困難な、あいりん地域並びにその周辺地域の住民の方々に対して医療面から支援する無料低額診療施設として昭和45年に開設され、半世紀にわたり、地域に生まれ運営を継続してきた。

しかし、最近では設立当初に比べ地域の状況は大きく変化し、地域住民についても高齢化が進み、生活保護受給者が増加し、日雇労働に従事する労働者は減少しているものの、経済的理由等からシェルター（臨時夜間緊急避難所）での宿泊や、野宿を強いられている人々が、今もなお多く存在している。

当院を受診する患者の疾患の傾向としては、高齢化やこれまでの過酷な肉体労働、食事の偏りなどによる生活習慣病や、骨・関節の長年の負荷に関係がある疾患が多く、さらには劣悪な生活環境からのストレスや過度のアルコール摂取、薬物依存等の精神疾患が多い。

具体的には、

- (ア) 内科は、生活習慣病の中でも高血圧症や糖尿病などの患者が多く、栄養指導や薬剤治療を行い、生活習慣病の改善に努めている。
- (イ) 外科は、消化器がんの患者に対する手術や化学療法が多くなっている。
- (ウ) 整形外科は、脊椎・関節の変形性疾患の患者が多く、関節やリウマチの専門治療も行っている。
- (エ) 精神科では、アルコール依存症や覚醒剤による精神疾患の患者が多いのが他院と異なる特徴である。

また、あいりん地域は、結核罹患率が高く、大阪市は第2次大阪市結核対策基本指針において平成23年度からの10年間で大阪市の結核罹患率をさらに半減させる取り組みを進めているため、当院においても、結核に対する取り組みを強化している。

具体的には、結核菌同定遺伝子検査として、平成23年4月にTRC法（約3時間で検査結果が判明）を導入し、平成24年4月にはLAMP法（約1時間で検査結果が判明）を導入し、迅速かつ的確な診断を行っている。また、西成区保健福祉センターとの緊密な協力も行いつつ、平成24年4月から呼吸器内科専門医を配置し、平成26年4月には副院長（常勤、呼吸器内科専門）を招聘し、結核や気管支喘息、肺がんなどの呼吸器疾患の治療に大きな効果を上げている。

令和2年度には、当院で新たに20名弱の結核患者が発見されており、このうち排菌していない患者については、当院の外来で治療し、排菌している患者については、専門的病院を紹介することで入院治療につなげ、入院治療が終われば、再び当院外来で治療・経過観察し、結核が地域に広がることを防いでいる。

このような状況の中で、旧病院は耐震性の問題があり、地域の要望を踏まえ、大阪市の基本運営計画も含め計5年間の新病院整備事業を経て、法人設立後50年目の節目となる令和2年12月1日に新病院を開院させることが出来た。

収益の確保については、入院収益は、令和2年度はコロナウイルス拡大に伴う患者の受

診控えによる入院患者の減により、前年度に比べ減少する見込みであるが、令和3年度は引き続き、適正な入院患者確保と入院診療単価の増額に努める。

なお、新病院においては、3階・4階の急性期病床計50床をオープンしているが、5階の療養病床30床及び訪問看護ステーションについては、看護師等の採用を引き続き進め、体制を整えて令和3年度年央を目途にオープンをめざし、一層の収益増を図る。4月から9月末までの6か月間は急性期病棟50床での運用を行い、10月から療養病床30床及び訪問看護ステーションの運営を見込んだ収益を計上している。

外来収益については、令和2年度は患者数の減により、前年度に比べ減少する見込みであるが、慢性疾患を抱える患者への適切な診療を継続し、外来診療単価の増に努める。また、新病院開院に伴い、外来を旧病院の5階から他院同様1階に設けたことで、より地域に開かれた病院をめざしつつ、外来患者数の一層の確保につなげる。

費用の縮減については、今年度も業務の効率化をより一層進める一方、契約期限の満了した契約の入札による委託経費削減を図るとともに、薬品の後発医薬品への切替えによる薬品費の一層の節減に努めるものとする。

また、現在も、地域の関係各団体や介護事業所等との連携を進めているが、近隣の医療機関との連携は今後ますます重要となることから、令和2年度に完成したホームページのリニューアルや新たに作成したDVDなどを活用した病院や当院事業の紹介や、地域住民に対する健康講座の院外実施やふれあい喫茶での健康相談をコロナウイルス対策に配慮しながら実施することで、より地域に密着した病院としての機能を啓発し、NPOを含めた地域団体や保健所・市大附属病院との連携体制を活かして、入院加療を要する患者の紹介を受ける取組みを強化していく。

以上のような取り組みを進めるため、令和3年度は次の具体的事業を行う。

#### 1 第二種社会福祉事業無料低額診療施設である付属病院事業の実施

当院の定款の目的として、①無料低額診療施設の運営、②医療・福祉に関する相談業務、③社会医学的調査研究、の3本柱の事業が定められており、中でも無料低額診療施設の運営は当院事業の中で最も重要な事業である。

(1) 診療科目は次のとおりとする。

内科・外科・整形外科・精神科・皮膚科・泌尿器科

(2) 入院患者並びに外来患者の見込数は次のとおりである。

##### ① 入院患者

(一般) 1日当たり平均43.0人、50床運用で病床稼働率86.0%

(療養：年度後半開始) 1日当たり平均27.9人、30床運用で病床稼働率93.0%

##### ② 外来患者(夜間診療及び休日診療を含む)

1日当たり平均210人

##### ③訪問看護療養費収入

(年度後半開始) 1日当たり平均訪問患者数16人

(うち、介護保険患者が12人、医療保険患者が4人と見込む)

(3) あいりん地域の低所得者、住所不定者等の生計困難者を対象とする診療費の減免を行う。

① 無料低額診療の対象者

あいりん地域並びに周辺の居住者及び生計困難者

② 方法

西成区保健福祉センター（分館含む）、西成労働福祉センター、生活ケアセンターからの「診療依頼書」等を持参頂き、診療費貸付申請書兼借用書を記入して頂いた上で受診。

(4) 夜間診療及び休日急病診療を行う。

①夜間：水・金 17：30～19：30 受付

②土曜：9：00～11：00 受付

③休日：休日急病診療事業 10：00～16：30 受付

(5) 時間外の診療

通院患者の急変に対しては17時まで対応するほか、指定の重症患者については24時間対応を行う。

## 2 医療・福祉に関する相談及び支援の実施

(1) 当院の定款の目的として、掲げられた3本柱の事業の一つであり、地域における保健と福祉の増進への寄与を使命とする当法人として、相談業務は患者の生活に直接関わる重要な取組みの一つである。

医療福祉相談係では、平成30年度に社会福祉士・精神保健福祉士の資格を有する者を1名採用し、これを含む2名の医療ソーシャルワーカーと1名の看護師が、患者やその家族がかかえる経済的・心理的・社会的問題等の不安や悩み等の様々な相談に応じている。

令和3年度も関係機関等と連携し、地域の保健と福祉の増進への寄与のため、問題解決の支援を行う。

令和3年度の相談件数の見込数は次のとおりである。

① 入院患者の相談件数

延 6,000 件。

② 外来患者の相談件数

延 10,000 件。

入外合わせて延 16,000 件。

### ○主な相談内容

①入院患者の相談・支援

入院時の生活保護手続き、高額療養の手続き、院外受診同行、退院後の生活相談、介護申請及び介護連携、訪問看護手続き等。

②外来患者の相談・支援

紹介状、他院検査の予約、当院診療科以外の科の受診、緊急入院の手続き等。

(2) また、当院では、外来・入院患者及び地域の方を対象に健康教室を年4～5回

開催してきたが、令和2年度はコロナウイルス感染拡大を受けて中止している。令和3年度は、コロナウイルスの状況を注視しながら、事前申込制を導入したり、院内で開催する際には1階待合を開放し換気に最大限工夫し、密にならないよう行うなど配慮しながら開催して行く。

### 3 社会医学的調査研究の実施

当院の定款に目的として、掲げられた3本柱の事業の一つであり、あいりん地域における労働者の生活環境・疾病状態・労働状況・食生活等の調査・研究を行うとともに、実践活動を通じて地区住民の福祉に貢献することを目的としている。

例年1件の社会医学的調査研究を実施し、過去の報告書を当院のホームページにおいて公表しており、令和3年度においても、1件の調査を実施し、報告書の内容を当院のホームページにおいて公表する。

### 4 西成特区結核健康診断業務への参画

○結核健診（西成特区） 月曜日～金曜日 10：00～15：00受付

令和3年度 委員会・会議等開催予定

	項目	時期・頻度	備考
法人関係	補助金監査	5月	大阪府・大阪市の担当者による監査
	監事監査	5月	当法人の監事による監査
	決算理事会	5月	
	定時評議員会	6月	
	保健所立入検査	年1回	医療法第25条第1項に基づく検査
	予算理事会	3月	
委員会・会議等	経営企画会議	月1回(第3木)	
	管理職・医局連絡会	月1回(第4木)	
	責任者連絡会	月2～3回(第1・2・5木)	
	医療安全管理委員会	月1回(第4木)	リスクマネジメント部会、医療安全リンクナース(月1回実施)
	院内感染対策委員会	月1回(第4木)	感染対策チーム、リンクナース(月1回実施)
	臨床検査適正化委員会	月1回(第4木)	
	医療ガス安全管理委員会	年1回	
	薬事委員会	奇数月(第4木)	
	看護部会	月1回(第3金)	師長会、主任会、教育部会(月1回実施)
	褥瘡対策委員会	月1回(第4水)	
	化学療法委員会	偶数月(第4水)	
	医事請求打合せ会	月1回(第4木)	
	栄養管理委員会	偶数月(第3木)	
	志水会	月1回(第4水)	あいりん労働公共職業安定所・西成労働福祉センター・西成警察署・西成区保健福祉センター分館との定例会
	地区担当者連絡会	3か月に1回(第2木)	地域の団体等が集まる連絡会
	健康教室	年4回	
	患者サポートカンファレンス	毎週火曜	患者の個別事例への対応を協議
	社会医学研究会	随時	
	倫理委員会	随時	
	人権啓発推進委員会	年1回	
医療用機種選定委員会	随時		
衛生委員会	月1回(第2木)		
内部統制連絡会議	年1回	法令遵守と公平かつ公正な職務執行のための会議	
職場内研修等	医療安全研修会	年2回	
	院内感染研修会	年2回	
	消防訓練	年2回	
	人権研修会	年1回	
	個人情報研修会	年1回	

# 資金収支予算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 千円)

勘定科目		R3年度予算 (A)	R2年度予算 (B)	差額 (A)-(B)	備考
収入	医療事業収入	1,529,907	1,498,183	31,724	
	入院診療収入(一般病棟)(公費)	515,946	513,503	2,443	
	入院診療収入(一般病棟)(一般)	1,989	1,989	0	
	入院診療収入(療養病棟)(公費)	100,835	66,890	33,945	10月より療養病棟開設予定
	入院診療収入(療養病棟)(一般)	1,000	1,000	0	
	外来診療収入(公費)	665,700	657,468	8,232	
	外来診療収入(一般)	7,266	7,266	0	
	訪問看護療養費収入	4,587	8,230	▲ 3,643	10月より訪問看護開設予定
	保健予防活動収入	2,053	2,053	0	結核健診@4,389円×20人×12月+その他1,000千円
	その他の医療事業収入	230,531	239,784	▲ 9,253	
	補助金事業収入(公費)	227,531	236,784	▲ 9,253	無料低額診療等事業補助金
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	その他の医療事業収入	3,000	3,000	0	文書料 @250千円×12月
	経常経費寄付金収入	0	0	0	
	受取利息配当金収入	55	55	0	
	その他の収入	1,200	1,200	0	
	雑収入	1,200	1,200	0	入院患者日用品代等
	介護保険事業収入	7,759	0	7,759	
	居宅介護料収入	7,759	0	7,759	訪問看護
	<b>事業活動収入計(1)</b>	<b>1,538,921</b>	<b>1,499,438</b>	<b>39,483</b>	
支出	人件費支出	682,418	711,482	▲ 29,064	
	役員報酬支出	2,218	2,218	0	
	理事給	1,800	1,800	0	150千円×12月
	費用弁償	418	418	0	@11千円×(理事会8人×3回+評議員会7人×2回)
	職員給料支出	361,473	380,542	▲ 19,069	
	医師給	84,867	88,185	▲ 3,318	10人
	看護師給	193,835	198,252	▲ 4,417	53人(看護師45人+介護福祉士8人)
	医療技術員給	43,460	56,167	▲ 12,707	11人
	事務員給	39,311	37,938	1,373	10人
	職員賞与支出	107,994	115,681	▲ 7,687	
	医師給	27,193	28,671	▲ 1,478	10人
	看護師給	52,596	58,209	▲ 5,613	53人(看護師45人+介護福祉士8人)
	医療技術員給	13,778	14,693	▲ 915	11人
	事務員給	14,427	14,108	319	10人
	非常勤職員給与支出	124,882	120,267	4,615	
	非常勤医師	93,282	90,039	3,243	
	パート賃金	31,600	30,228	1,372	看護助手、事務、放射線技師、看護師、薬剤師等
	法定福利費支出	85,851	92,774	▲ 6,923	
	事業費支出	468,698	468,698	0	
	給食費支出	18,115	18,115	0	
医薬品費支出	377,526	377,526	0		
診療・療養等材料費支出	50,376	50,376	0		
保健衛生費支出	1,800	1,800	0	@150千円×12月	
日用品費支出	600	600	0	@50千円×12月	
水道光熱費支出	19,801	19,801	0	(電気代 14,888千円 ガス代 5,947千円 水道代 5,787千円) × 76%	
賃借料支出	180	180	0	@15千円×12月	
車輛費支出	300	300	0	車検・ガソリン代等	

(単位:千円)

勘定科目		R3年度予算 (A)	R2年度予算 (A)	差額 (A)-(B)	備考	
事業活動による収支	事務費支出	230,038	230,786	▲ 748		
	福利厚生費支出	1,100	1,100	0		
	職員被服費支出	5,500	5,500	0		
	旅費交通費支出	1,650	1,650	0		
	研修研究費支出	1,400	1,400	0		
	事務消耗品費支出	7,000	7,000	0		
	印刷製本費支出	1,460	1,460	0		
	水道光熱費支出	6,600	6,600	0	(電気代 14,698千円 ガス代 5,947千円 水道代 5,757千円) × 25%	
	修繕費支出	3,300	3,300	0		
	建物修繕	1,000	1,000	0		
	備品修繕	2,300	2,300	0		
	通信運搬費支出	1,800	1,800	0		
	会議費支出	100	100	0		
	業務委託費支出	168,729	175,793	▲ 7,064		
	検査委託費	15,840	32,136	▲ 16,296		
	その他委託費	152,889	143,657	9,232		
	手数料支出	120	120	0		
	保険料支出	1,450	1,450	0	医師賠償保険・火災保険・自動車保険等	
	賃借料支出	5,680	5,680	0		
	租税公課支出	200	200	0		
	保守料支出	22,594	16,278	6,316	電子カルテ関連及び消費税増税分等	
	諸会費支出	700	700	0		
	その他の支出	655	655	0		
	雑支出	655	655	0		
	利用者負担軽減額	48,345	50,098	▲ 1,753		
	診療費減免額	48,345	50,098	▲ 1,753		
	支払利息支出	5,101	1,966	3,135		
	施設整備等借入金に係る支出	5,101	1,966	3,135		
	その他の支出	0	0	0		
	利用者等外給食費支出	0	0	0		
事業活動支出計(2)	1,434,600	1,463,030	▲ 28,430			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	104,321	36,408	67,913			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	1,466,958	▲ 1,466,958	
		施設整備等補助金収入(建設等)	0	1,466,958	▲ 1,466,958	
		施設整備等補助金収入(実施設計)	0	0	0	
		設備資金借入金収入	0	366,740	▲ 366,740	
		施設整備等借入金収入(建設等)	0	366,740	▲ 366,740	
		施設整備等借入金収入(実施設計)	0	0	0	
		施設整備等収入計(4)	0	1,833,698	▲ 1,833,698	
	支出	固定資産取得支出	0	1,833,698	▲ 1,833,698	
		建設仮勘定支出	0	1,833,698	▲ 1,833,698	
		用地造成費等支出	0	62,333	▲ 62,333	
		建物建設費用	0	1,200,199	▲ 1,200,199	
		工事監理業務委託費支出	0	6,864	▲ 6,864	
		建設等に係る支援業務委託費支出	0	15,298	▲ 15,298	
		医療機器整備支出	0	401,225	▲ 401,225	
		医療情報システム整備支出	0	147,779	▲ 147,779	
施設整備等支出計(5)	0	1,833,698	▲ 1,833,698			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0			
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
		積立資産支出	104,321	36,408	67,913	
	支出	退職給付引当資産支出	84,321	31,408	52,913	
		備品等購入積立資産支出	20,000	5,000	15,000	
		その他の活動支出計(8)	104,321	36,408	67,913	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲ 104,321	▲ 36,408	▲ 67,913			
予備費支出(10)	0	0	0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0			